

D&Dホールディングス

村脇 學 社長



むらわき・まなぶ 1967年生まれ。1989年総合商社入社。07年D&Dマネージメント設立。14年同社代表取締役社長就任。翌15年D&Dホールディングス代表取締役社長就任。

①稻垣栄洋著「38億年の生命史に学ぶ生存戦略」 ②
気球に乗って夕日を見たケニア。自分が小さいと感じ
た ③時間の流れがゆっくりなところ

EV販売開始 県経済に貢献

一 御社について教えてください。
私たちは自動車を中心とするあらゆる領域でソリューションを提供する事業会社の経営管理を目的とした会社です。車両の賣い取りのほか、短期間のレンタカー配備をするコンサルティング事業、自動車賃貸借事業、車両の譲り受けを行っている会社がグループ企業になります。現在、自動車関連事業に対するお客様によって、急速にドド変化や多様性によって、速いスピードで変わつてます。

二 なぜ県経済に貢献するのですか？
県内のレンタカー保有台数が減り、観光業の昔から「車を増やしても見えないか」との声がさらに大きくなつたと感じた一年でした。人流の制限

三 新型コロナウイルス感染症の影響で光産業の昔から「車を増やしても見えないか」との声がさらに大きくなつたと感じた一年でした。人流の制限

四 2022年を振り返って。
2022年振り返り

五 言っています。刻一刻と変化するお客様のニーズをいち早くキャッチするための二つを、幸せをモビリティで繋ぐをタブーとして掲げ、グルーブ一丸となって取り組んでおります。

六 一方で、レンタカーが手配できず、旅行を断念した方もいると思われます。レンタカーは他者との接触がない空間を保てるため、コロナ禍でも観光に重宝されています。また、國の観光需要喚起策で県内外に旅行をする方々は増えました。旅館など、他の宿泊施設が手配できず、旅館連鎖事業を譲り受けました。県内のレンタカービジネスでは、老舗であるトラベルレンタカーの社長には大同火災海上保険副社長を務めた澤田剛氏を迎えて、県経済発展のために貢献しています。コロナ禍による厳しい事業経営でしたが、レンタカー業の本業で復活兆しが見えてきました。

七 6月にはレンタカー事業を宮むトラベルレンタカーと車検や整備事業を行っている松宮オートサービスの各車両関連事業を譲り受けました。県内のレンタカービジネスでは、老舗であるトラベルレンタカーの社長には大同火災海上保険副社長を務めた澤田剛氏を迎えて、県経済発展のために貢献しています。コロナ禍による厳しい事業経営でしたが、レンタカー業の本業で復活兆しが見えてきました。

八 EV（電気自動車）の普及元年になると想っています。昨年11月に視察したフルウェイではEVが社会に浸透しているのが当たりになりました。EVは災害などが発生した際の蓄電池に

九 EV（電気自動車）の普及元年になると想っています。昨年11月に視察したフルウェイではEVが社会に浸透しているのが当たりになりました。EVは災害などが発生した際の蓄電池に

十 EV（電気自動車）の普及元年になると想っています。昨年11月に視察したフルウェイではEVが社会に浸透しているのが当たりになりました。EVは災害などが発生した際の蓄電池に

十一 EV（電気自動車）の普及元年になると想っています。昨年11月に視察したフルウェイではEVが社会に浸透しているのが当たりになりました。EVは災害などが発生した際の蓄電池に



1月1日元旦号・沖縄タイムス

2023 Top Interview に掲載されました

沖縄タイムス 1月1日元旦号の 2023 Top Interview に、

株式会社 D&D ホールディングス代表取締役村脇学社長の記事が掲載されました。

(リリースに関するお問い合わせ先)

株式会社 D&D ホールディングス

経営企画部 TEL : 03-6630-5632